

きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。

安全・安心なまち

住みよい住環境の整備

建物は鉄筋コンクリート造5階建て40戸で、全ての間取りが段差のないフルフラットフロアで、エントランスはオートロックが完備された安全で安心な構造となっています。



民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づく手法を取り入れ、民間のノウハウによる質の高いサービスの導入や町財政の平準化を図りながら、快適な住まい環境の創出、定住人口の増加、成美地区の活性化を目的に中堅所得者向け地域

優良賃貸住宅（グランファミリア落合）を整備しました。グランファミリア落合は子育て世代を主軸としている建物1階には子どもたちの遊びや勉強の場、自治会の会議など入居者が多目的に利用できるコミニティースペースが設置されています。

快適な道路ネットワーク

新東名高速道路、国道246号の4車線化など高規格幹線道路が



民間賃貸住宅リフォーム助成を活用したアパート



ラウンドアバウト（環状交差点）

民間アパートのリフォーム促進

立地企業の従業者や若者世代の住宅ニーズに応える、機能的な賃貸住宅を確保するため、「民間賃貸住宅リフォーム助成」を創設しました。防犯性や断熱性の向上、間取りの変更などへの助成を通じて、住みやすい賃貸住宅の数を増やし、暮らしたい町として選ばれる小山町を目指していきます。

進められ、小山町の道路ネットワークも大きく変貌しています。また、平成31年に開通した東名高速道路足柄スマートICにより、首都圏へのアクセスなど利便性が向上しています。生活道路においては、新東名高速道路（仮称）小山PA・スマートIC近くにラウンドアバウト（環状交差点）が令和3年に開通し、まちの新たな玄関口のシンボルとなる安全で快適な交差点が誕生しました。